

ご挨拶

総合情報処理センター長 松岡守

平成 23 年 4 月よりセンター長を務めさせていただくこととなりました。よろしくお願い致します。

三重大学総合情報処理センターの所掌業務は、ネットワーク情報基盤研究，教育情報システム研究，ネットワーク情報サービスと多岐にわたります。そのうち平成 22 年度に実施した主なものとして以下があります。これらは前任の木村文隆センター長の下に実施されました。

(1) IDP (インライン検知システム) 専用機を導入しキャンパスネットワークの監視・防御体制を強化した。

(2) 東海アカデミッククラウド研究会に参加し，アカデミッククラウドによるバックアップに関する検討を開始した。

(3) 学内サーバに学外から安全にアクセスを可能にするセキュア VPN サービス開始のため，SSL-VPN (Secure Socket Layer Virtual Private Network) 装置の導入を行い，非公開試行を行った (その後平成 23 年度初頭に公開に至っている)。

(4) マイクロソフトオフィス包括ライセンス契約に基づき最新バージョン Microsoft Office 2010 のダウンロードインストール配布を開始した。なお，サイトライセンスないしフローティングライセンスで提供しているソフトはこの他にもウィルス対策，統計，数学，CAD，構造設計ソフトがある。

(5) モバイル LAN (学内公衆無線 LAN サービス) の拡充を図り，特に小規模建屋や学内辺縁部などで無線 LAN による情報ネットワークの提供を開始した。

(6) 平成 21 年度学生「満足度調査」に対して，総合情報処理センター関係分について回答を行うとともに，指摘事項の改善と，改善策の検討を行った。また，総情センターが関係する三重大学の各種情報システムやサービスについて満足度や改善策を調査するため，独自のアンケートを行って，指摘事項の改善と，改善策の検討を行った。

情報ネットワークについては専門的な部分，用語が少なくなく，一般の方にはわかりにくいかも知れませんが，要は安全で快適なコンピュータ・ネットワークを実現すべく，様々なサービスのありようを検討・推進している，ということになります。

私が学生の頃は計算センターという施設があって，何かプログラム開発して計算しようと思えばパンチカードを持って日参しなければなりませんでした，今は大きく状況が変わり，当時の共同利用計算機よりも高機能のパソコンを個人で持つことができるように

なりました。個人のパソコンで行えないものはインターネット経由でサーバに接続し、あたかも個人のパソコンで行っているがごとくさまざまな作業を行うこともできます。これらは大変喜ばしいことではありますが、大学全体で見ますとハード、ソフトの重複、そしてハードが重複・分散して存在している分、エネルギーにも無駄使いの側面のあることが拭えません。これを解決する手段として複数のコンピュータをまとめて無駄なくみんなでうまく使おうという発想：クラウド・コンピューティングの概念が生まれ、今話題となっています。大学はアカデミックに先導する立場で、すぐにもこうした新しい仕組みを導入すべきという意見もありますが、一方で大学内ではコンピュータは様々な用途で使われており、中には古いと言われても安全、確実なシステムにこだわらないといけない部署もあることも事実です。

先進的な技術も、例えば個人で使うコンピュータ単体であれば、試しに使ってみようという方の判断でどんどん先取りして導入されれば良いわけですが、大きくまとめて導入するほど効果が上がるというクラウド・コンピューティングにあっては、どこまでまとめ、どのような形態で導入するかは慎重な検討を要します。しかし多少のずれはあったとしても、再びコンピュータの利用形態が大きく変わるべき時期に来ていると思われまます。今求められているのは三重大大学の事情に沿った新しいコンピュータ・ネットワーク環境案をまとめることであると思えます。それに基づき、近い将来にコンピュータ・ネットワーク環境を大きく変える時が来ると思われます。これらは学内の多くの方のご意見をお聞きし、それを組み入れつつ進めていかなければなりません。皆様のご理解、ご協力をお願いする次第です。